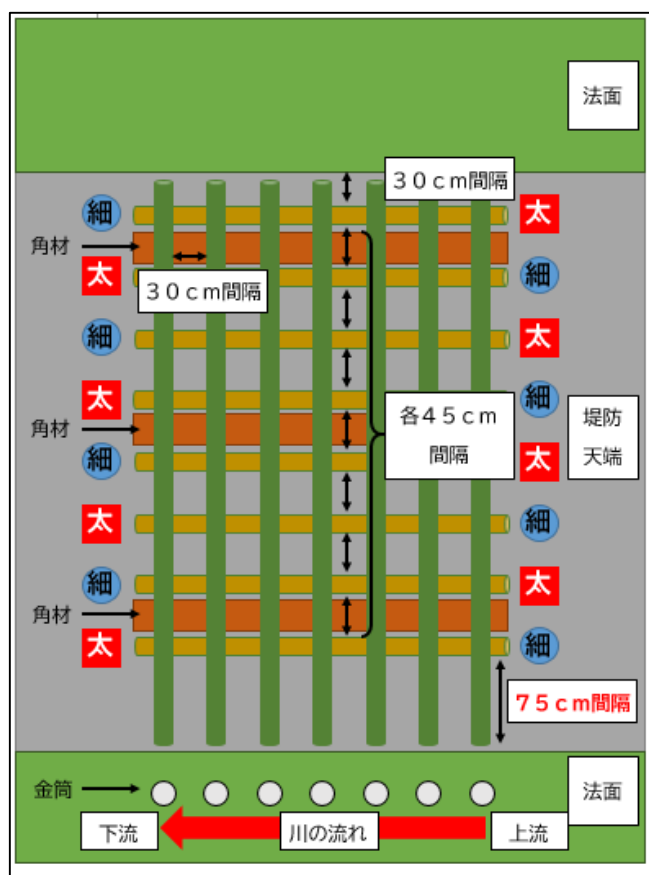


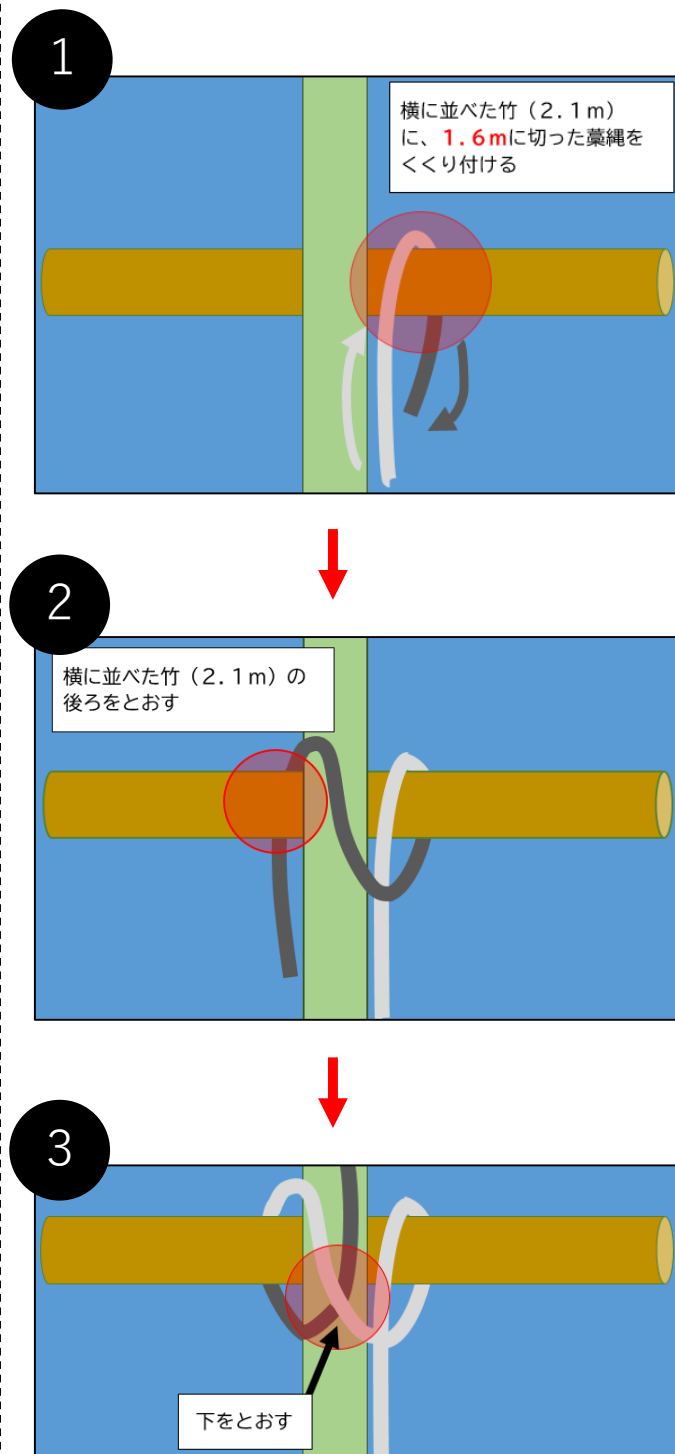
3 屏風返し工 (1 / 8)

(1) 角材 3 個を堤防天端に並べる。竹 (2.1 m) を横に 4 5 c m 間隔で 8 本並べる。竹の先 (細い方) と根側 (太い方) を交互に並べること。

次に、竹 (4.2 m) を縦に 3 0 c m 間隔で 7 本並べる。



(2) 竹 (2.1 m) と竹 (4.2 m) を 1.6 m に切った藁縄を用いて、カミククシ結び (カマサゲ) → イボ結び (シオリ) の順で固定する。



3 屏風返し工（2/8）

4

カミククシ結び
(カマサゲ)、完成

5

輪をつくる

6

1

3

2

4

藁縄を下からとおす

藁縄を巻き付ける

藁縄を下からとおす

7

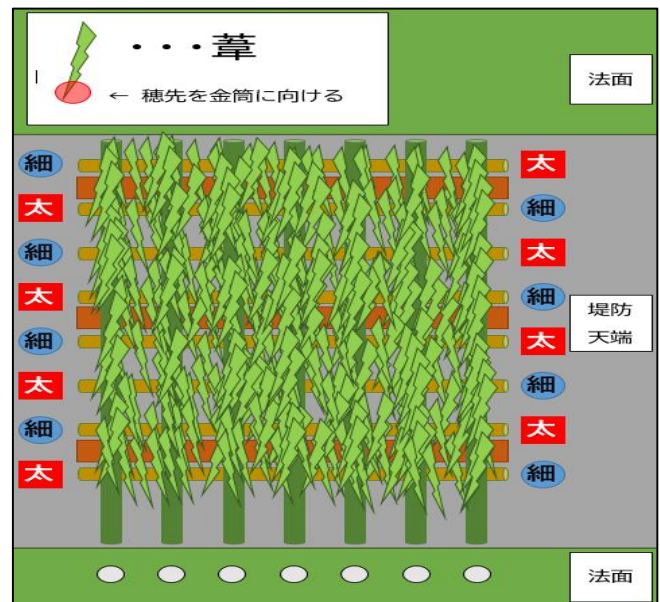
藁縄を強く絞ってイボ結び
(シオリ) 完成。

補足

後ろから見たときは
このようになる

表側のカミククシ
結び(カマサゲ)
の斜め部分

(3) 結束した竹の上に、葦
を乗せる。

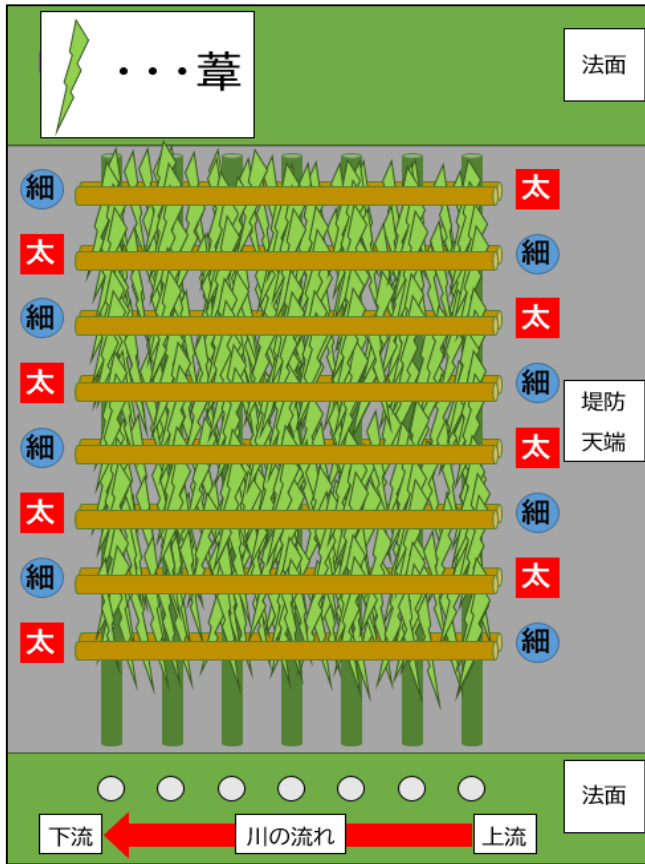


穂先を金筒
に向ける



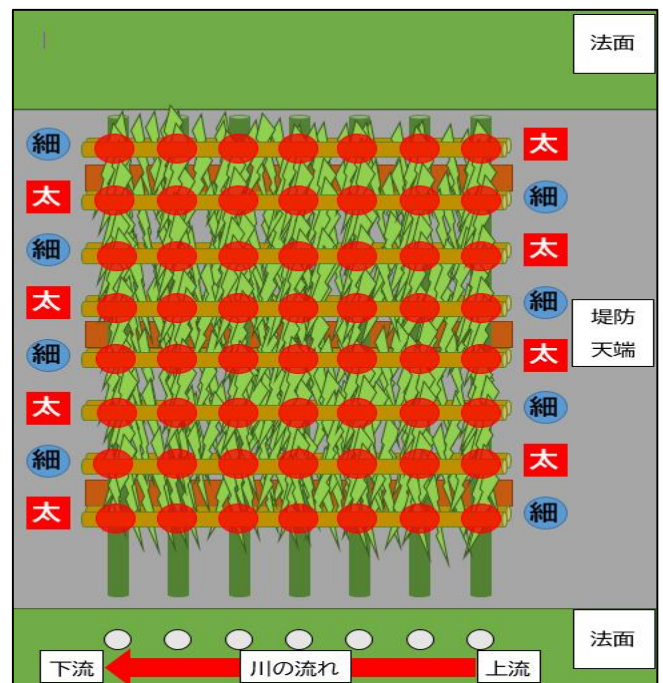
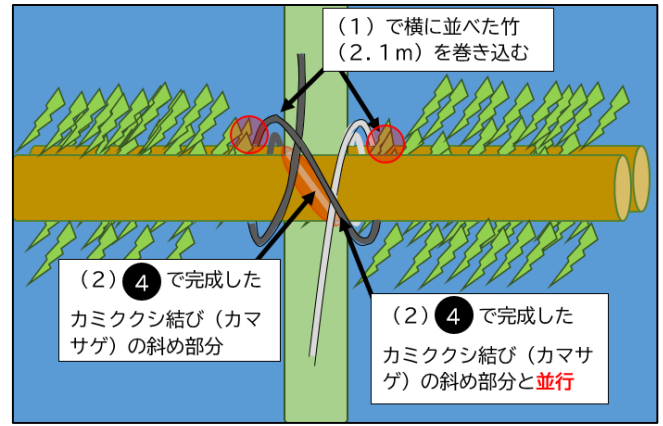
(4) (1) の要領で、竹
(2.1 m) を横に 4 5 c m
間隔で 8 本並べる。竹の先
(細い方) と根側 (太い方)
を交互に並べること。

3 屏風返し工 (3 / 8)



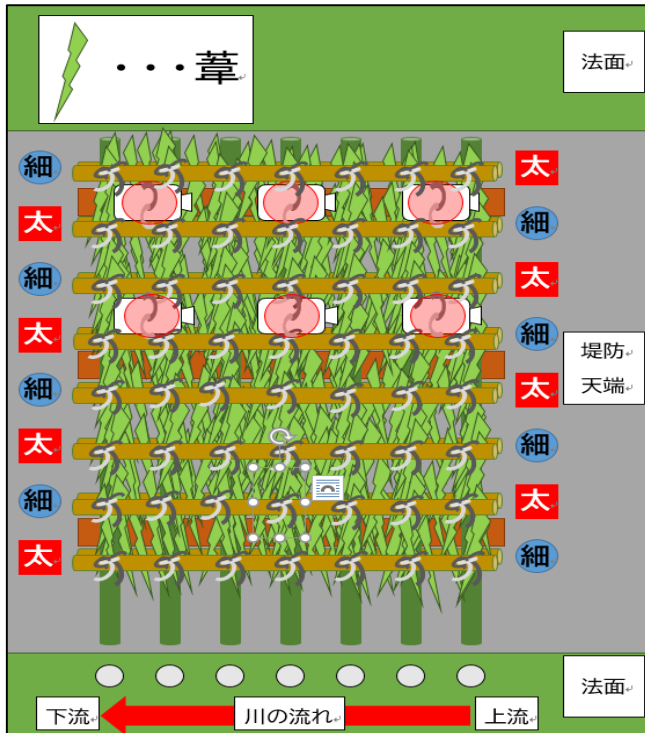
(5) 別の藁縄を用いて、背面の、(1) で横に並べた竹 (2.1 m) を巻き込んで、カミククシ結び (カマサゲ) で5 6箇所固定する。さらに、イボ結び (シオリ) を行い、竹を固定する。

余分な藁縄は切る。

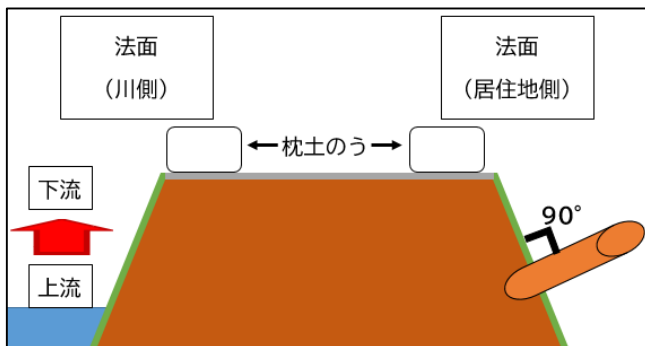


3 屏風返し工（4/8）

（6）重し土のうを6個を、藁縄を用いて、イボ結び（シオリ）で竹に取り付ける。



（7）居住地側に留杭（0.9 m）を打ち込む。路肩を保護するために、川側と居住地側に枕土のうを1個ずつ、設置する。



（8）屏風を金筒に差し込む。屏風が倒れないよう、ひっかけ棒で支えながら、7本の竹の口元を1本ずつ、掛矢で潰していく。

川側に掛矢をあて、天端側から掛矢で潰すことに注意。



3 屏風返し工（5/8）

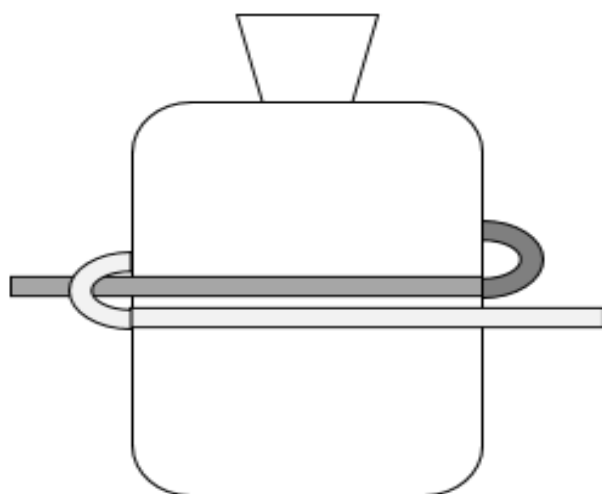
（9）組み立てた竹（屏風）を川側に折り返す。

クレモナロープ（命綱等・10m）2本を用いて、ゆっくり折り返す。

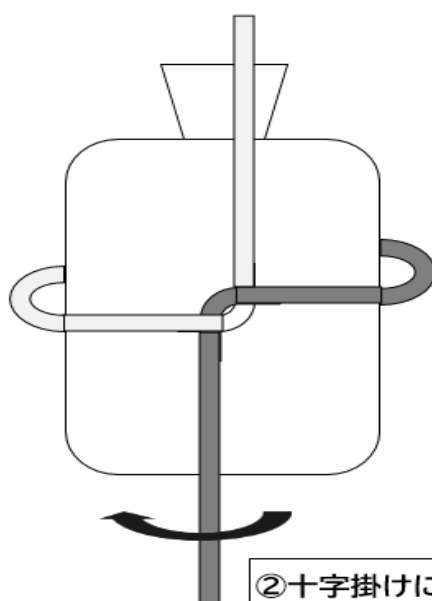
クレモナロープ（命綱等・10m）を屏風にひっかけて、ゆっくり折り返す。



（10）土のうはクレモナロープ（あおり止め用・12m）を1本用いて、あおり止め用土のうを計2袋作成する。

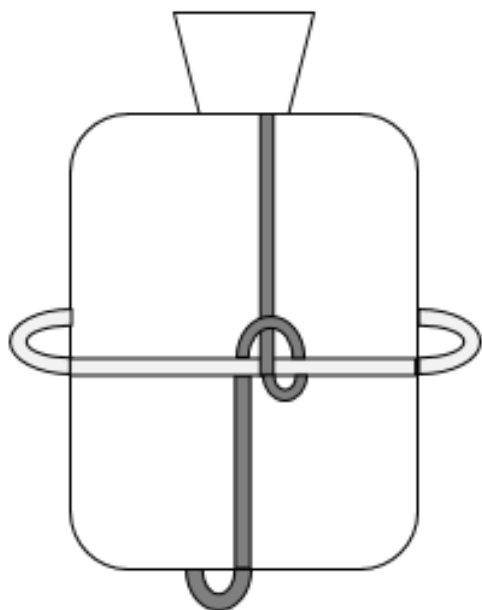


①土のうにクレモナロープ（あおり止め用・12m ※以下、「ロープ」）を回す

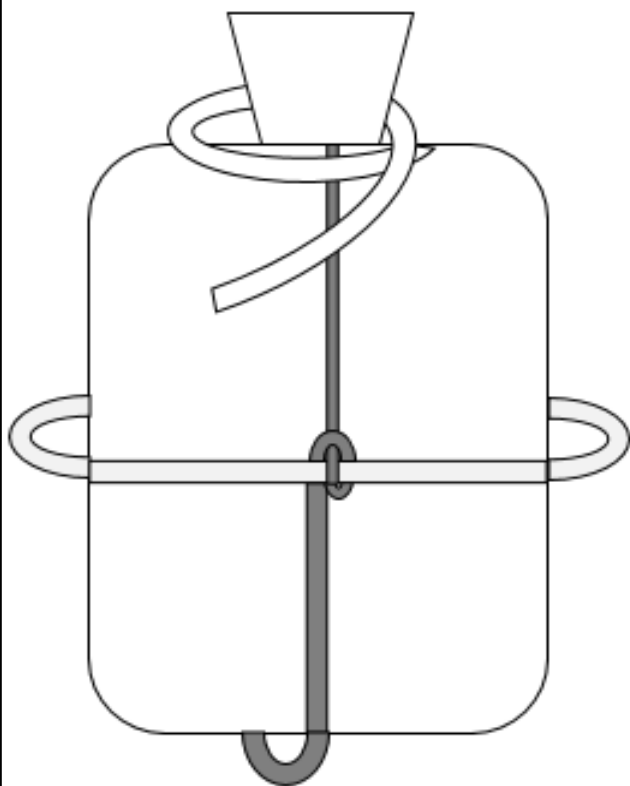


②十字掛けにして土のうを回転させる

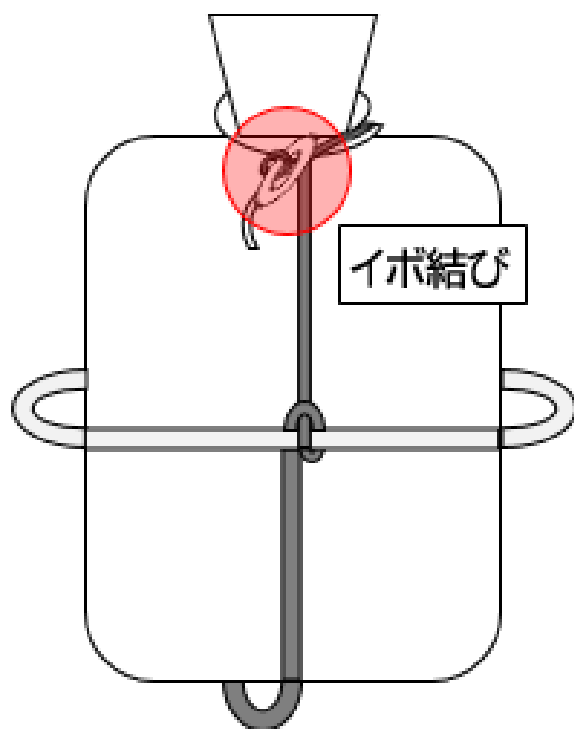
3 屏風返し工（6/8）



③横締め(図の白い)ロープに、
図の灰色のロープをのの字結びする



④図の白いロープを土のう
のしばり口に1回巻きつける



⑤図の白いロープで作った輪
に、灰色のロープを巻きつけ
て、イボ結びで固定する

（1 1）（1 0）で作成した
あおり止め用土のうを（8）
で打ち込んだ留杭に、複数回
巻きつけてからフナ結びまた
はもやい結びで固定する。

3 屏風返し工（8/8）



3 屏風返し工

資材（1組あたり）				
土のう (線無し)	竹 (φ40mm～50mm、 2.1m)	竹 (φ40mm～50mm、 4.2m)	葦	藁縄
10袋	16本	7本	3束	3玉
留杭 (0.9m)	クレモナロープ (命綱等・1.0m)	クレモナロープ (あおり止め用・1.2m)	青ビブス	
1本	2本	2本	1着	
器材				
角材	金筒	ひっかけ棒	掛矢	鎌
3個	7個	2個	2個	2個